

平成22年度 学校評価及び自己評価 後期結果(教員)

- 1:よくあてはまる
 2:ややあてはまる
 3:あまりあてはまらない
 4:全くあてはまらない

番 号	項 目	評 価(%)			
		1	2	3	4
1	建学の精神に則った適切な目標を設定する。	22	78	0	0
2	教育課題や学生の実態を踏まえて、本年度の重点目標を設置し、具現化に努める。	33	67	0	0
3	明示された中長期の学校経営ビジョンを全教職員が共有し、教育実践に努める。	22	44	33	0
4	経営方針や育てたい学生像を学生・保護者・地域社会・その他関係者等に対して明確に示す。	11	56	33	0
5	学校目標に沿って、学級の実態に応じた学級目標を設置し、学級経営を行う。	22	67	11	0
6	個別面談を学期中に1回以上実施し、学生の多面的理解を深める。	33	56	11	0
7	各学科・コースの特性や個々の学生の進路に適した教育課程を編成する。	44	56	0	0
8	教育課程の実効性や、教育目標の達成状況を定期的に検証する。	33	67	0	0
9	各教科目の年間指導計画(シラバス)を作成し、学習目的や学習方法を事前に学生に説明する。	44	56	0	0
10	基礎学力・基本技術の習得の徹底を図る。	44	44	11	0
11	教科の専門性や指導力の向上に努め、効果的な授業を行うための研究や研修を深める。	11	89	0	0
12	わかりやすい授業づくり・授業改善を推進するため、学生による授業評価を定期的に実施する。	33	56	11	0
13	評価基準に基づき、共通理解のもとで評価を行う。	11	89	0	0
14	評価をその後の授業にフィードバックし、指導と評価の一体化を図る。	22	78	0	0
15	各種国家試験・検定等に果敢に挑戦することを奨励し、学習意欲の喚起につなげる。	78	22	0	0
16	出席率を高め、遅刻者をゼロにする運動を推進する。	11	67	11	11
17	あいさつ・マナー・礼儀等のきめ細やかな学生指導を行い、節度ある規則正しい生活を身につけさせる。	0	89	0	11
18	悩みを抱える学生の早期発見に努め、適切な教育相談を行う。	0	89	11	0
19	進路選択に役立つ情報を提供する。	44	44	11	0
20	進路実現に向け、講演会、面談等を計画的に行う。	11	78	11	0
21	年間計画に基づき、インターンシップを実施し、職業意識の啓発を図る。	44	56	0	0
22	学生の心身の健康について、学級担任・分掌等の連携を密にした指導を行う。	33	56	11	0
23	安全確保について学生や保護者への啓発を促し、組織的に対応できる危機管理体制を整える。	22	78	0	0
24	ホームルーム指導を通して、交通安全教育や安全衛生教育を徹底する。	33	56	11	0
25	年度の実態に応じ、各分掌の課題確認と分掌業務の改善に努める。	22	78	0	0
26	校務分掌の円滑な推進のため、各分掌間・学年間の相互連携を図る。	11	89	0	0
27	分掌ごとの業務記録、資料保存に努める。	33	67	0	0
28	各委員会の設置目的を確認し、その実現に向けて効果的な話し合いを行う。	22	78	0	0
29	各種委員会での話し合いの結果を教職員に各業務に反映させ、教育活動や学校経営等に生かす。	22	67	11	0
30	教育センター・私学協会等で開催される研修会を積極的に活用し、教職員の資質の向上を図る。	0	44	44	11
31	日常の清掃活動に全校学生、全教職員で積極的に清掃活動に取り組む。	0	89	0	11
32	特別な清掃活動(大掃除・地域清掃活動等)を年3回以上実施する。	44	44	0	11
33	日常生活の中で環境美化の意識を高める指導に取り組む。	22	67	0	11

番 号	項 目	評 価 (%)			
		1	2	3	4
34	省エネ運動を推進し、水道使用量や電気使用量を前年比5%減に努める。	11	67	22	0
35	施設・設備の安全点検や補修を行い、環境整備を図る。	22	78	0	0
36	日常の教育活動や指導は、常に安全を優先して行う。	33	67	0	0
37	パソコンによる校務処理を推進してデータの共有化を図り、効率的な事務業務を行う。	67	33	0	0
38	パソコン上の学生情報等の管理の徹底を図る。	44	44	11	0
39	諸帳票類の管理保管体制を整え、適切に運営する。	56	33	11	0
40	各教科等において。関連校との効果的な情報交換や連携に努める。	0	89	11	0
41	関係の深い高校や大学等との情報交換や連携に努める。	22	67	11	0
42	地域等からの苦情等に対し、適切に対応できる体制を整備するとともに、改善を速やかに行う。	22	67	11	0
43	年間計画に基づき、進路講話・交通講話等に外部講師を積極的に活用し、教育的効果を高める。	56	33	11	0
44	ホームページの更新を定期的に行い、学校情報の積極的発信に努める。	67	22	11	0
45	学校情報の内容(諸活動)がホームページ更新に反映されるよう担当者との連携を図る。	67	33	0	0
46	ポスター配布や説明会の開催など適切な広報活動を行い、高校生の進路選択に関する資料を提供する。	78	22	0	0
47	学校の特色を感得・理解する機会としての体験入学(オープンキャンパス)を積極的に開催し、入学希望者の増加に努める。	78	22	0	0